

「道路の老朽化対策」パネル展について

今回、平成 28 年 1 月の開催に続き 3 回目となる「道路の老朽化対策」パネル展を下記により開催いたします。

これは、牧之原市と国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所が協力し、道路の老朽化の現状、課題、対策について、広くご理解いただく広報活動の一環として開催するも、展示パネルでは当市の管理する橋梁の状況や、今後の取り組み方針、昨年度補修工事を実施しました静谷地区の「高山橋」の補修内容についても紹介します。

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設の老朽化対策が喫緊の課題となっていることについて、道路は国民の共用資産であり、少しでも長く使っていくよう、きめ細かい点検と修繕を行い、次世代へ引き継いでいくことが必要であること、また、道路インフラを管理する地方公共団体は、予算・人員・技術の面で多くの課題を抱えていることなど、道路の老朽化を身近な問題としてご理解を深めていただきたいと思いますと考えております。

記

- 1 展示期間 平成 30 年 1 月 15 日（月）～ 2 月 2 日（金）
- 2 開催会場 牧之原市役所 相良庁舎 1 F ロビー（牧之原市相良 275 番地）
- 3 主 催 国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所、牧之原市
- 4 問合せ先 牧之原市役所 建設部 建設管理課（電話 0548-53-2627）

展示パネルの主な内容

- ・道路の老朽化の実態
- ・道路の老朽化を防ぐ取組（補修、点検、技術開発）
- ・道路の老朽化を防ぐための通行の適正化
- ・牧之原市における道路の老朽化の現状 …ほか

資料「道路の老朽化対策」パネル展

□展示パネル（一例）

橋をいためる3つの原因って？

クルマの重さ・振動

(疲労による損傷)

ここを長年等重たよ

この重たの上を走るクルマが重さすぎるのが、橋がいたる原因なんだから。

この重たの上を走るクルマが重さすぎるのが、橋がいたる原因なんだから。

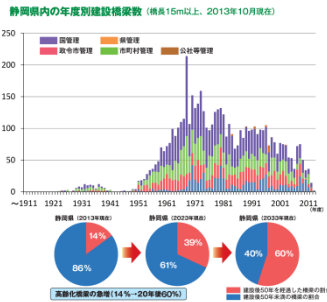
こうしたクルマがくりかえし走ることで、橋がいたつられ、ひびわれが起こり、これがひどくなると、橋げたの一部がめが落ちます。

コンクリートの一部が剥がれ、橋げたが歪む

静岡県内の橋も高齢化

建設後50年超が14%

静岡県には国と県、政令市、市町村、公社等が管理する橋長15m以上の橋は約5,200橋、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁が、2013年10月時点で14%あります。しかし、高度経済成長長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化橋梁の割合は60%に急増します。



橋を長く安全に使えるように

長寿命化修繕計画で橋を守る

今後、高齢化橋梁が急速に増大するため、従来の壊れてから修繕した場合、大規模な修繕や架け替えが必要になります。そのため、損傷が小さいうちから計画的に予防的修繕をすることで、橋の長寿命化と橋梁の修繕費用の削減ができます。



牧之原市 橋梁長寿命化修繕計画

～橋を長く安全に利用するために～

1. 長寿命化修繕計画の意義と目的

■現状

牧之原市が管理する2m以上の橋梁は548橋あります。平成25年度末現在で、1.5m以上および重要路線に架かる、95橋について、点検と長寿命化計画が策定されています。その他の橋梁については、全548橋のうち333橋が点検終了しています。95橋の橋梁では、現在、橋齢50年を超える高齢化橋梁は、全体の9%(9橋)ですが、20年後には46%(44橋)に増加します。

2012年

- 50年以上: 9%
- 30年以上50年未満: 35%
- 30年未満: 54%

2032年

- 50年以上: 46%
- 30年以上50年未満: 45%
- 30年未満: 8%

高山橋の補修事業

橋梁名: 高山橋
路線名: 市道 中野生線
架橋年: 1965年(昭和40年)
渡河河川: 勝間田川

対策前

- 橋桁の傾
- 筋違の傾
- 筋違の歪み

対策後

- 橋桁の傾
- 筋違の歪み

お問い合わせ先
静岡県 牧之原市 建設部 建設管理課
TEL: 0548-53-2627 FAX: 0548-52-3772
E-mail: kenkan@city.makinohara.shizuoka.jp

□前回パネル展 (H28/1/25~2/5) 会場の様子

